

## 組合員の声に基づく

## 申7号 Part②

## 職場環境改善の実現を求める申し入れ

## 秋田営業統括センター

1. 羽後本荘駅の共用ロッカーを増設すること。  
回答：ロッカーを増設する考えはない。

【組合】回答について、ロッカーが足りているということなのか、スペースがないということなのか。

【会社】現行のロッカー数で対応可能。兼務者が増えていくといっても一人ひとりにロッカーを与えることはどこの箇所でもやっていない。申し入れを受けて確認したが、ロッカーは余っている状況。1人で2つのロッカーを使用している状況もあるため、1人ひとつにするよう現場に話している。

## 秋田運輸区

1. 緊急時の出勤者にも対応できるようにするため、駐車スペースを確保すること。

回答：基本的には、車通勤者に対する駐車場を確保する考えはない。

〈組合〉駐車場がなくなった経緯は。

〈会社〉空きスペースがあったので貸してもらえないかということで運輸区に貸していた。もともとは社宅のスペース。売却の話が出たため貸せなくなったことが経緯。

・緊急時においても出退勤時のルールである列車・バスは変わらないが、管理者の指示があった場合には車で出勤し駐車場に停めることはかまわない。

・一概に車で来たから駐車場代とはならない。緊急時など業務上必要と管理者が判断した場合の費用負担に関して、ガソリン代だけではなく駐車場代も業務上必要なものであれば支給する。

〈組合〉社員の方から「車で行けば良いか」と聞くと、ガソリン代が出ないといった場合もあり、先に言った言わないで支給するしないがある。

〈会社〉通勤手段の変更になるため、管理者に相談となる。どちらから言ったから払わないということについては指導していきたい。

2. レターケースを設置すること。

回答：レターケースを設置する考えはない。

〈組合〉間内改良をする際、レターケースが無くなると張り紙が貼られて数日後にすぐ撤去された。

〈会社〉間内改良する際にユニットで議論した。秋田運輸区の社員の声として実施していると認識している。

・紙は今後なくなっていく。まだ慣れないこともあると思うが今後のことを考えると先進的な取組みと感じている。

3. 酒田の乗務員休養管理室のマットが薄く十分な休養が取れないため改善すること。

回答：現行どおりとする。

・引き続き新潟支社に社員の声としてあげていく。

・寝具については個人差がある。乗務員の睡眠の質向上の観点からエアウェーブが導入された。新潟支社でもP Tなども立ち上がっていて、マットをどうするかなど同じような議論になっている。

〈組合〉エアウェーブの下に敷いているマットが薄く機能が十分に発揮されていない。

〈会社〉了解した。

## 東能代統括センター

1. 営業の休養管理室ベット下やキオスクのバックヤードにネズミがいるため駆除すること。

回答：予てより状況を把握しており、改善している。

改善

・3月～6月に駆除業者が入って対応している。穴を塞いだり、休養室のベットを変えて環境を変えるなどの対策をした。6月以降はネズミは確認されていない。

〈組合〉キオスクの管理もしているため食品も扱っている。衛生的な課題もあるため、この効果を維持できるようにしていきたい。

2. 深浦駅のホームから上り2番までの指定通路の敷板が腐食しているため改善すること。

回答：設備状況等を把握したうえで必要な対応を検討することとなる。

・工事の目処はたっていないが、指定通路なので社員の安全を守ることが大前提で変わりはない。優先順位を考慮して設備側で施工していくこととなる。

・今年度は弘前統括センター構内、南秋田センター指定通路の一部に予算がついている。社員の安全に関わることについてはやっていないわけではない。